議長記者会見の概要

日　時：令和８年 10 月８日（木）
　　午前 10 時 40 分～10 時 48 分
場　所：議長応接室



外山　衛　議長　　山下　寿　副議長

【要旨】

９月定例会の閉会を受け、外山議長が３５日間の会期を振り返り、宮崎国スポ・障スポに向けた競技力強化や防災・減災対策など幅広く議論された成果に触れるとともに、知事提出議案をすべて認めたことを報告した。

質疑では、来年の県議選に向け女性や若手の立候補の表明が相次ぐ現状を歓迎し、女性議員の増に期待を示した。また、福岡県議会を巡る一連の騒動に関して、宮崎県議会では同様の事案はないことを伝えた。

【会見内容】

９月定例会を終えての議長の所感

（外山議長）

９月定例会も、本日をもって３５日間の会期を終えた。代表質問に４名、一般質問に１０名の議員が登壇し、宮崎国スポ・障スポに向けた競技力強化と新施設の有効活用や令和８年熊本地震を踏まえた防災・減災対策の推進など、幅広い分野にわたって活発な議論が交わされた。

今定例会では、中東情勢の影響を受けた中小企業等への支援や、「九州ふっこう応援割」等の補正予算など、すべての知事提出議案を認めた。また、令和７年度の決算関係議案について

もすべて認めた。
　県議会としては、引き続き県政全般にわたり県民目線に立った議論を行うことで、議会に求められる役割をしっかりと果たしていく。
　最後に、今定例会においては、宮崎産業経営大学の学生４名をインターン生として受け入れた。私も山下副議長とともに直接意見交換し、学生の意欲的な姿勢に刺激を受けた。報道機関の皆様には、この取り組みを取り上げてもらい、感謝を申し上げる。

質疑応答

＜宮崎日日新聞＞
　今回の定例会とは直接関係ないが、知事選もいよいよ迫っている。新しい知事に求める役割や資質等を、議長としてどう考えているか。

（外山議長）
　知事選については、今のところコメントを差し控えたい。

＜宮崎日日新聞＞
　来年の県議選に向けて、立候補の表明が相次いでいる。現職に加え、女性や比較的若い方もいるが、議長の所感を伺いたい。

（外山議長）
　積極的な立候補は歓迎するところである。良い議員構成となることを期待している。
　結果は分からないが、女性の立候補が増えるかもしれない。女性議員を増やそうという方向性もあるため期待している。

（山下副議長）
　今回立候補を予定している女性はかなり優秀な方々と思われ、来期は女性議員が倍増するかもしれないと感じている。現職の議員も含め、一生懸命に活動を行って欲しい。

＜毎日新聞＞
　福岡県議会を巡る一連の騒動は、本人の辞職等もあり収まりつつあるが、この間の騒動をどのように見ていたか、議長の所感を伺いたい。

（外山議長）
　他県議会の個別の事案についてはコメントする立場にないが、我々も驚くほどの異常事態が起きていると感じていた。まだ調査結果が出ていないため何とも言えないが、我々が口を出す問題ではないと思う。

（山下副議長）
　大変な状況である。すべての県議会が、ああいう状況だと思う方もいる。色々な質問を県民の皆様から受けるが、我々もびっくりしている状況と説明せざるを得ない。我々には計り知れないような状況が福岡県議会で起きていたと報道等で聞くのみである。

＜宮崎日日新聞＞
　関連だが、念のため確認したい。議長がそれぞれ今までに見聞きしてきた範囲で、福岡県議会のようなことは宮崎県議会では起きていないという理解でよろしいか。

（外山議長）
　全くない。

（山下副議長）
　宮崎ではないと理解してもらって構わない。